

麻しん・風しんの発生状況について

北海道感染症危機管理対策協議会
麻しん対策専門委員会 資料

〔 とき：平成27年2月12日（木）18：00～19：30
ところ：かでの2.7 10階 1010会議室 〕

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

I 麻しんの発生状況について

1 麻しん（はしか）とは

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく医師の届出基準において、麻しんは「麻しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患である」と定義されている。

＜届出基準＞

患者（確定例）

医師は、麻しんの臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から麻しんが疑われ、かつ届出に必要な要件を満たすと診断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を7日以内に行わなければならない。

【届出のために必要な要件】

ア 麻しん（検査診断例）

届出に必要な臨床症状の3つすべてを満たし、かつ、届出に必要な病原体診断のいずれかを満たすもの。

イ 麻しん（臨床診断例）

届出に必要な臨床症状の3つすべてを満たすもの。

ウ 修飾麻しん（検査診断例）

届出に必要な臨床症状の1つ以上を満たし、かつ、届出に必要な病原体診断のいずれかを満たすもの。

【届出に必要な臨床症状】

ア 麻しんに特徴的な発疹

イ 発熱

ウ 咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状

【届出に必要な病原体診断】

検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	咽頭拭い液、血液、 髄液、尿
検体から直接のPCR法による病原体の遺伝子の検出	
抗体の検出 (IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意の上昇)	血清

また、「厚生労働省「麻しん（はしか）に関するQ&A（平成19年5月30日作成）」では次のように記載されている。

Q 麻しんとはどんな病気ですか？

A 麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる一般に小児期に多い急性の感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。また、麻しんウイルスは、ヒトからヒトへ感染すると言われています。

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1000人に1人と言われています。

近年はワクチンの2回接種が行われ、麻しんに感染する方の人数は減っています。

2 麻しんの発生状況及び動向の把握

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、麻しんは五類感染症に規定（法第6条第6項）されており、麻しんと診断した医師は都道府県知事（保健所）に届出することになっている。（法第12条第1項第2号：規則第4条第3項）

＜定点医療機関から全医療機関に変更＞

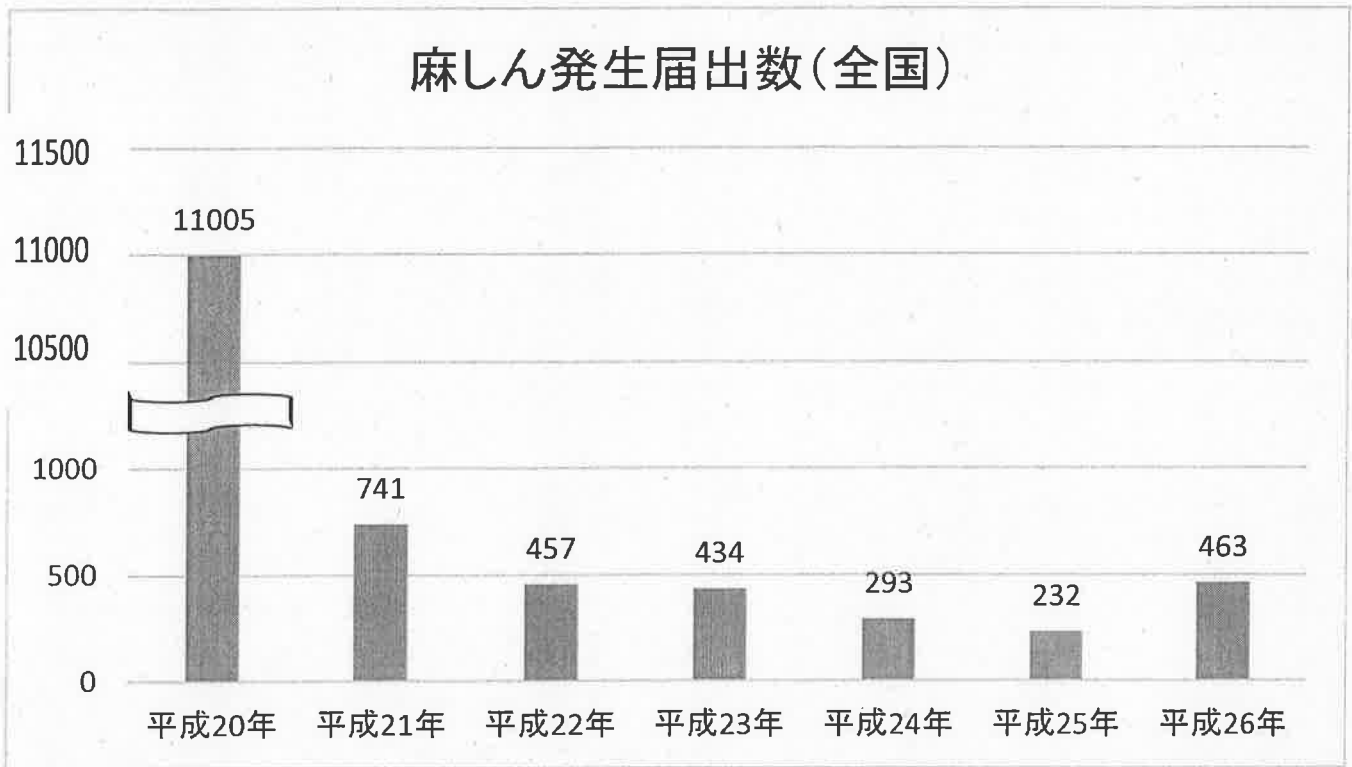
平成19年12月に規則改正が行われ、それまで知事の指定した医療機関（指定届出機関）からのみ届出されていた麻しんが、平成20年1月より全医療機関（医師）から届出されることとなった。

（道内の届出：小児科定点143カ所、基幹定点23カ所（H19） → 全医療機関（医師）（H20））

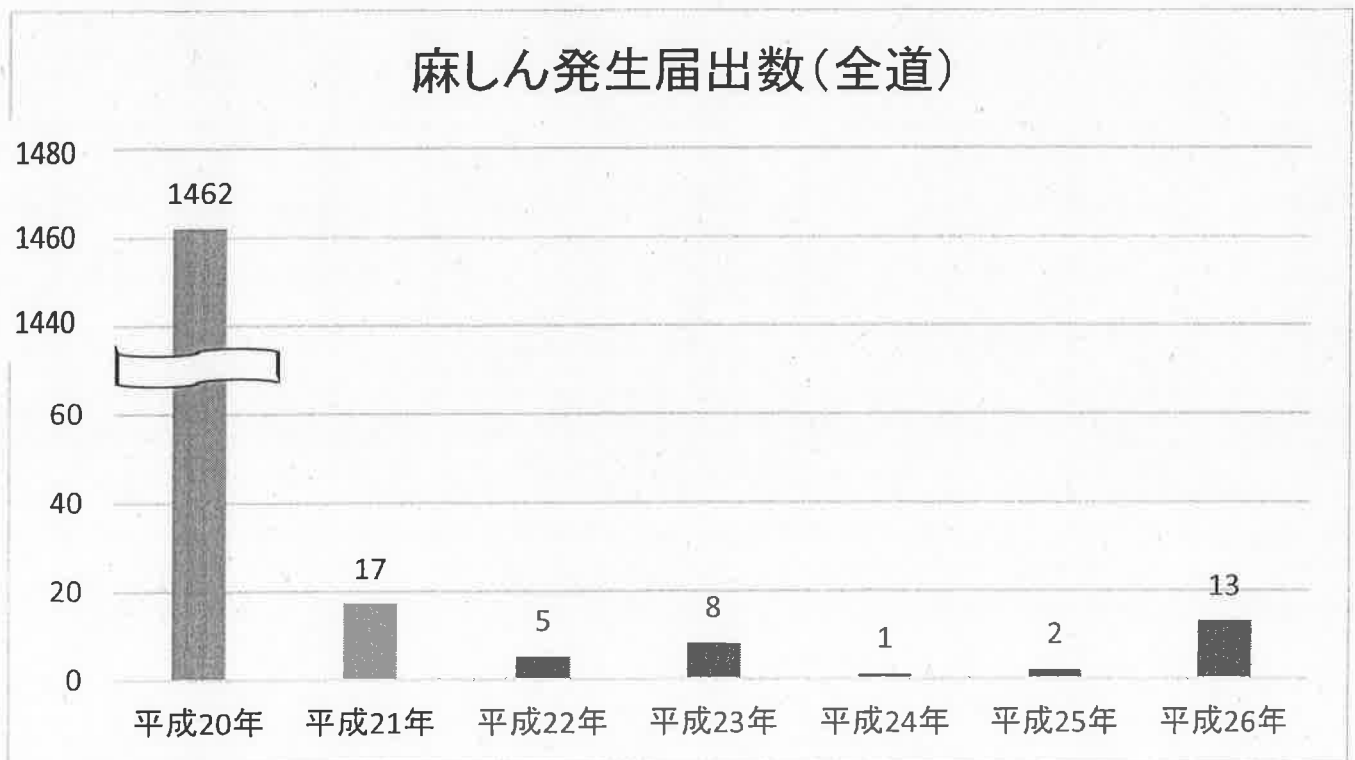
3 麻しんの発生状況について

A 麻しん発生件数の推移

(1) 全国麻しん発生件数の推移 (単位: 件)



(2) 全道麻しん発生数の推移 (単位: 件)



B 年次毎の麻しん発生状況

(1) 平成26年(全医療機関(医師)からの届出)

【全国及び全道における麻しん発生状況(届出週)】

区分	1週 ~1/5	2週 ~1/12	3週 ~1/19	4週 ~1/26	5週 ~2/2	6週 ~2/9	7週 ~2/16	8週 ~2/23	9週 ~3/2	10週 ~3/9	11週 ~3/16	12週 ~3/23	13週 ~3/30	14週 ~4/6	15週 ~4/13	16週 ~4/20	17週 ~4/27	18週 ~5/4	19週 ~5/11	20週 ~5/18	21週 ~5/25	22週 ~6/1	23週 ~6/8	24週 ~6/15	25週 ~6/22	26週 ~6/29	27週 7/6	
全国	5	14	8	21	25	18	19	16	22	25	12	27	28	26	23	18	13	8	7	10	10	10	4	9	14	6	11	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

区分	28週 ~7/13	29週 ~7/20	30週 ~7/27	31週 ~8/3	32週 ~8/10	33週 ~8/17	34週 ~8/24	35週 ~8/31	36週 ~9/7	37週 ~9/14	38週 ~9/21	39週 ~9/28	40週 ~10/5	41週 ~10/12	42週 ~10/19	43週 ~10/26	44週 ~11/2	45週 ~11/9	46週 ~11/16	47週 ~11/23	48週 ~11/30	49週 ~12/7	50週 ~12/14	51週 ~12/21	52週 ~12/28	累計
全国	7	2	0	6	5	5	3	4	4	1	1	2	4	1	0	0	2	1	1	2	0	0	1	1	1	463
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9	5	38.5%
10~14	0	0.0%
15~19	2	15.4%
20~29	4	30.8%
30~	2	15.4%
計	13	100.0%

【参考2】北海道内における麻しん発生事例一覧

No.	診断週	管轄保健所	患者年齢区分	患者性別	予防接種歴	備考
1	10	千歳	20~29	女	不明	
2	13	岩見沢	20~29	男	不明	
3	13	札幌市	15~19	男	無	
4	14	札幌市	15~19	女	不明	
5	14	岩見沢	20~29	女	不明	
6	14	岩見沢	30~	女	無	
7	14	岩見沢	~ 9	女	無	
8	14	札幌市	30~	男	不明	
9	14	岩見沢	~ 9	男	有(2回)	
10	15	岩見沢	~ 9	女	有(1回)	
11	16	札幌市	20~29	男	不明	
12	16	岩見沢	~ 9	男	有(1回)	
13	26	札幌市	~ 9	女	無	

【参考3】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	岩見沢	千歳
患者数	5	7	1

【参考4】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有(2回)	有(1回)	無	不明
患者数	1	2	4	6

(2) 平成25年（全医療機関（医師）からの届出）

【全国及び全道における麻疹発生状況（届出週）】

区分	1週 ~1/6	2週 ~1/13	3週 ~1/20	4週 ~1/27	5週 ~2/3	6週 ~2/10	7週 ~2/17	8週 ~2/24	9週 ~3/3	10週 ~3/10	11週 ~3/17	12週 ~3/24	13週 ~3/31	14週 ~4/7	15週 ~4/14	16週 ~4/21	17週 ~4/28	18週 ~5/5	19週 ~5/12	20週 ~5/19	21週 ~5/26	22週 ~6/2	23週 ~6/9	24週 ~6/16	25週 ~6/23	26週 ~6/30	27週 7/7
全国	0	4	6	4	10	4	3	6	7	8	9	5	10	12	9	3	7	5	8	7	4	0	3	5	4	4	5
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分	28週 ~7/14	29週 ~7/21	30週 ~7/28	31週 ~8/4	32週 ~8/11	33週 ~8/18	34週 ~8/25	35週 ~9/1	36週 ~9/8	37週 ~9/15	38週 ~9/22	39週 ~9/29	40週 ~10/6	41週 ~10/13	42週 ~10/20	43週 ~10/27	44週 ~11/3	45週 ~11/10	46週 ~11/17	47週 ~11/24	48週 ~12/1	49週 ~12/8	50週 ~12/15	51週 ~12/22	52週 ~12/29	累計
全国	9	2	7	3	3	5	4	4	7	7	1	1	0	1	1	1	3	1	0	2	2	3	2	5	6	232
北海道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
～9		0.0%
10～14		0.0%
15～19		0.0%
20～29	2	100.0%
30～		0.0%
計	2	100.0%

【参考2】北海道内における麻疹発生事例一覧

No.	診断週	管轄保健所	患者年齢区分	患者性別	予防接種歴	備考
1	12	札幌市	20～29歳	女	不明	
2	28	函館市	20～29歳	男	有（1回）	

【参考3】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	函館市
患者数	1	1

【参考4】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有（1回）	不明
患者数	1	1

(3) 平成24年(全医療機関(医師)からの届出)

【全国及び全道における麻しん発生状況(届出週)】

区分	1週 ~1/8	2週 ~1/15	3週 ~1/22	4週 ~1/29	5週 ~2/5	6週 ~2/12	7週 ~2/19	8週 ~2/26	9週 ~3/4	10週 ~3/11	11週 ~3/18	12週 ~3/25	13週 ~4/1	14週 ~4/8	15週 ~4/15	16週 ~4/22	17週 ~4/29	18週 ~5/6	19週 ~5/13	20週 ~5/20	21週 ~5/27	22週 ~6/3	23週 ~6/10	24週 ~6/17	25週 ~6/24	26週 ~7/1	27週 7/8
全国	6	4	5	8	9	14	8	9	3	8	7	7	7	2	4	2	2	2	4	5	5	8	7	11	10	5	12
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分	28週 ~7/15	29週 ~7/22	30週 ~7/29	31週 ~8/5	32週 ~8/12	33週 ~8/19	34週 ~8/26	35週 ~9/2	36週 ~9/9	37週 ~9/16	38週 ~9/23	39週 ~9/30	40週 ~10/7	41週 ~10/14	42週 ~10/21	43週 ~10/28	44週 ~11/4	45週 ~11/11	46週 ~11/18	47週 ~11/25	48週 ~12/2	49週 ~12/9	50週 ~12/16	51週 ~12/23	52週 ~12/30	累計
全国	9	7	11	8	5	5	7	13	7	4	4	4	4	1	3	1	1	2	2	5	3	3	4	4	2	293
北海道	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9		0.0%
10~14		0.0%
15~19		0.0%
20~29		0.0%
30~	1	100.0%
計	1	100.0%

【参考2】北海道内における麻しん発生事例一覧

No.	診断週	管轄保健所	患者年齢区分	患者性別	予防接種歴	備考
1	29	岩見沢	30~	男	有(2回目不明)	

【参考3】保健所別発生状況

保健所別	岩見沢
患者数	1

【参考4】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有(2回目不明)
患者数	1

(4) 平成23年(全医療機関(医師)からの届出)

【全国及び全道における麻疹発生状況(届出週)】

区分	1週 ~1/9	2週 ~1/16	3週 ~1/23	4週 ~1/30	5週 ~2/6	6週 ~2/13	7週 ~2/20	8週 ~2/27	9週 ~3/6	10週 ~3/13	11週 ~3/20	12週 ~3/27	13週 ~4/3	14週 ~4/10	15週 ~4/17	16週 ~4/24	17週 ~5/1	18週 ~5/8	19週 ~5/15	20週 ~5/22	21週 ~5/29	22週 ~6/5	23週 ~6/12	24週 ~6/19	25週 ~6/26	26週 ~7/3	27週 7/10
全国	6	4	8	13	9	12	6	3	8	3	9	3	5	8	25	21	38	13	22	39	17	13	16	14	7	12	12
北海道	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0

区分	28週 ~7/17	29週 ~7/24	30週 ~7/31	31週 ~8/7	32週 ~8/14	33週 ~8/21	34週 ~8/28	35週 ~9/4	36週 ~9/11	37週 ~9/18	38週 ~9/25	39週 ~10/2	40週 ~10/9	41週 ~10/16	42週 ~10/23	43週 ~10/30	44週 ~11/6	45週 ~11/13	46週 ~11/20	47週 ~11/27	48週 ~12/4	49週 ~12/11	50週 ~12/18	51週 ~12/25	52週 ~1/1	累計
全国	5	7	9	4	5	0	5	6	3	2	2	4	3	6	5	0	1	2	3	5	3	2	3	3	0	434
北海道	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~9	2	25.0%
10~14	1	12.5%
15~19		0.0%
20~29		0.0%
30~	5	62.5%
計	8	100.0%

【参考2】北海道内における麻疹発生事例一覧

No.	診断週	管轄保健所	患者年齢区分	患者性別	予防接種歴	備考
1	2	札幌市	30~	女	有(1回)	
2	9	帯広	~9	男	有(1回)	
3	17	千歳	30~	女	不明	
4	17	旭川市	30~	女	無	
5	23	苫小牧	30~	男	不明	ウイルス型:D8
6	25	苫小牧	30~	女	不明	ウイルス型:D8
7	30	苫小牧	~9	女	有(1回)	
8	35	千歳	10~14	男	不明	

(5) 平成22年(全医療機関(医師)からの届出)

【全国及び全道における麻しん発生状況(届出週)】

区分	1週 ~1/4	2週 ~1/11	3週 ~1/18	4週 ~1/25	5週 ~2/1	6週 ~2/8	7週 ~2/15	8週 ~2/22	9週 ~3/1	10週 ~3/8	11週 ~3/15	12週 ~3/22	13週 ~3/29	14週 ~4/5	15週 ~4/12	16週 ~4/19	17週 ~4/26	18週 ~5/3	19週 ~5/10	20週 ~5/17	21週 ~5/24	22週 ~5/31	23週 ~6/7	24週 ~6/14	25週 ~6/21	26週 ~6/28	27週 ~7/5
全国	6	6	10	10	14	7	11	6	5	13	6	8	11	10	18	14	15	5	16	16	10	10	14	9	11	16	20
北海道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

区分	28週 ~7/12	29週 ~7/19	30週 ~7/26	31週 ~8/2	32週 ~8/9	33週 ~8/16	34週 ~8/23	35週 ~8/30	36週 ~9/6	37週 ~9/13	38週 ~9/20	39週 ~9/27	40週 ~10/4	41週 ~10/11	42週 ~10/18	43週 ~10/25	44週 ~11/1	45週 ~11/8	46週 ~11/15	47週 ~11/22	48週 ~11/29	49週 ~12/6	50週 ~12/13	51週 ~12/20	52週 ~12/27	累計
全国	13	6	5	15	7	8	8	8	10	4	4	7	5	2	6	3	3	4	4	5	4	6	8	9	6	457
北海道	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9	1	20.0%
10~14	0	0.0%
15~19	0	0.0%
20~29	2	40.0%
30~	2	40.0%
計	5	100.0%
10代(再掲)	0	0.0%

【参考2】北海道内における麻しん発生事例一覧

No.	診断週	管轄保健所	患者年齢区分	患者性別	予防接種歴	備考
1	3	札幌市	30~	女	無	
2	14	札幌市	~9	男	無	
3	19	札幌市	20~29	女	不明	感染地域(推定)中国
4	35	室蘭	20~29	女	有(2回目不明)	
5	48	札幌市	30~	女	無	感染地域(推定)インド

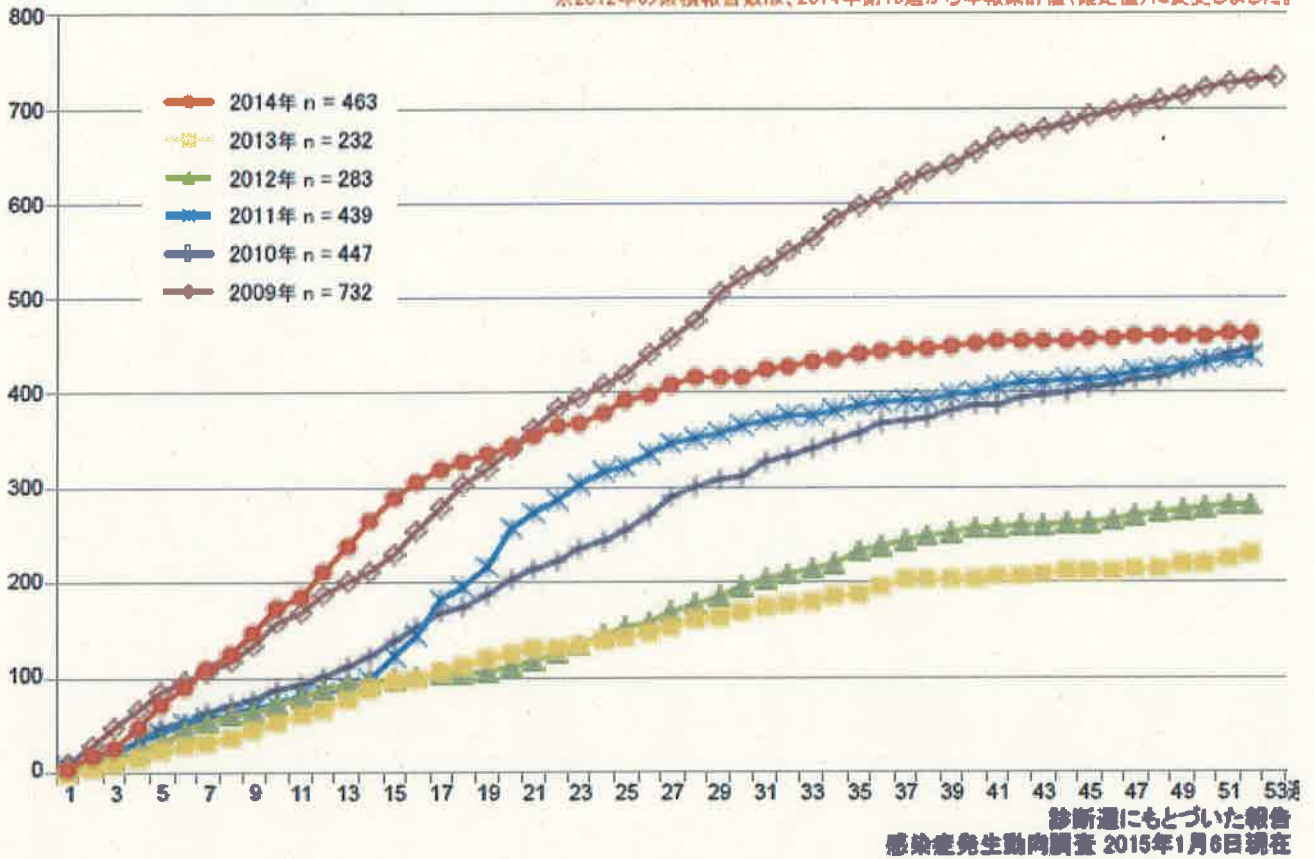
参考：麻疹発生状況（速報グラフ）

～感染症発生動向調査～

国立感染症研究所感染症情報センターHPより

1 麻疹累積報告数の推移

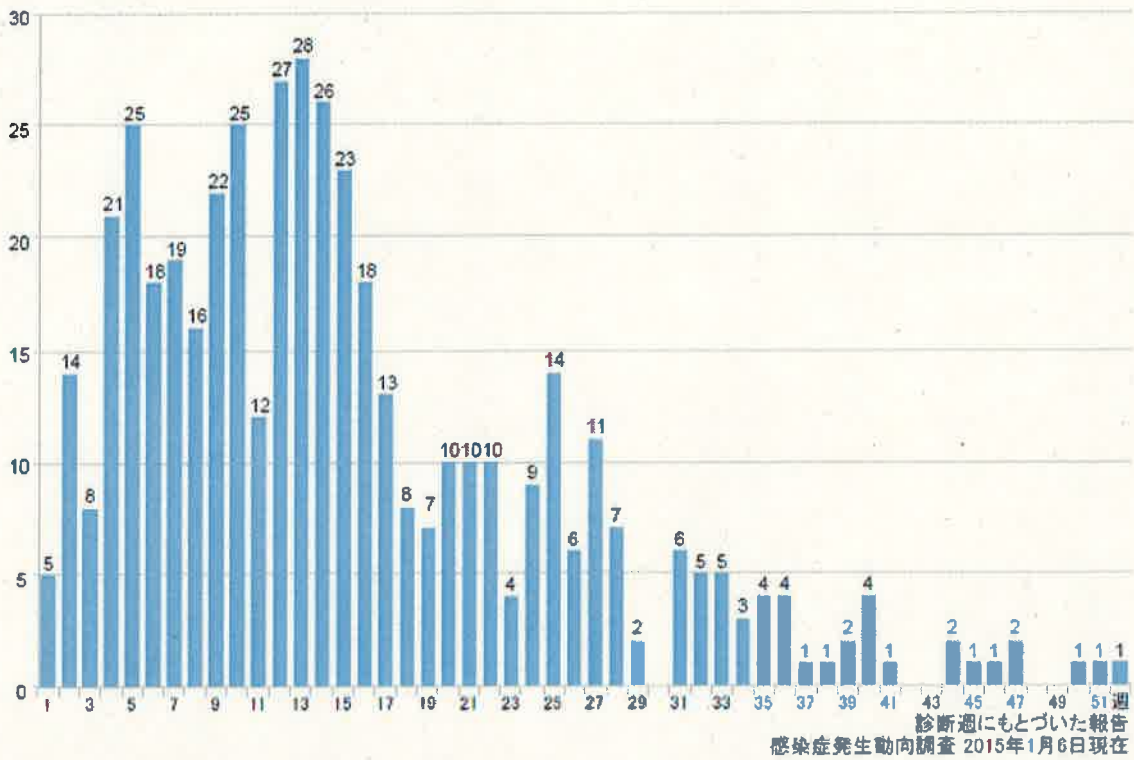
※2012年の累積報告数は、2014年第15週から年報累計値（確定値）に変更しました。



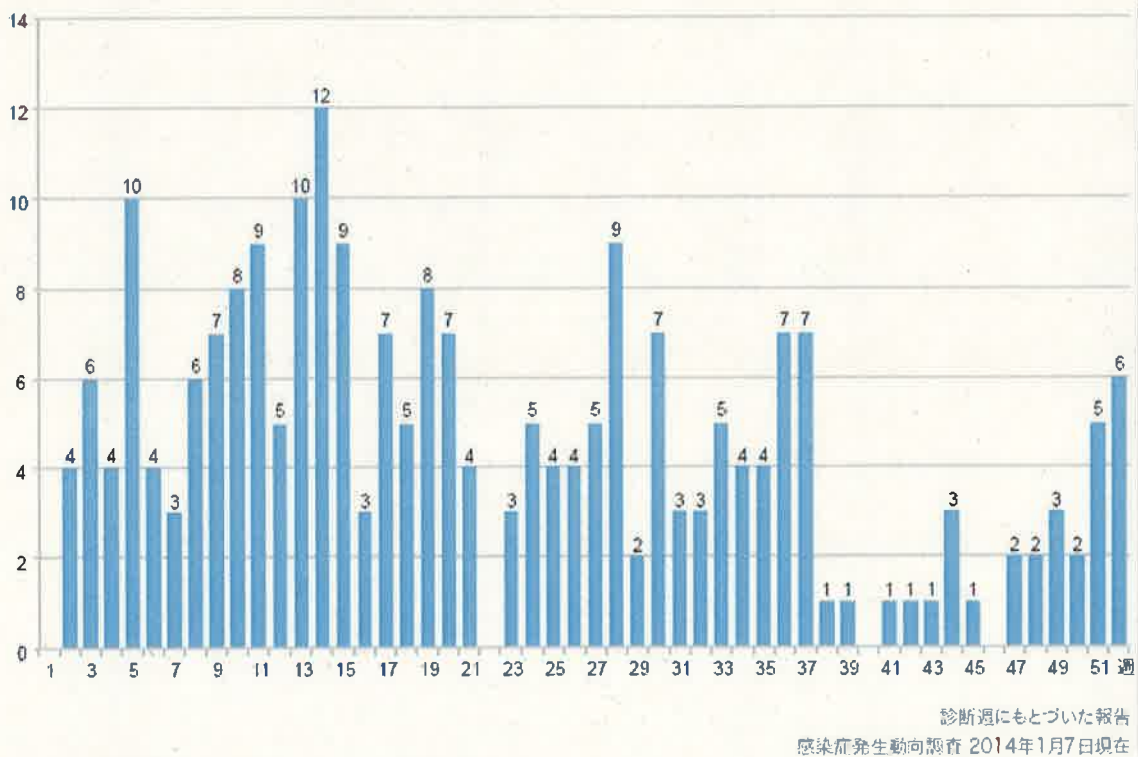
2

ア 週別麻しん報告数（全国）

(a) 2014年第1週－52週（n＝463）

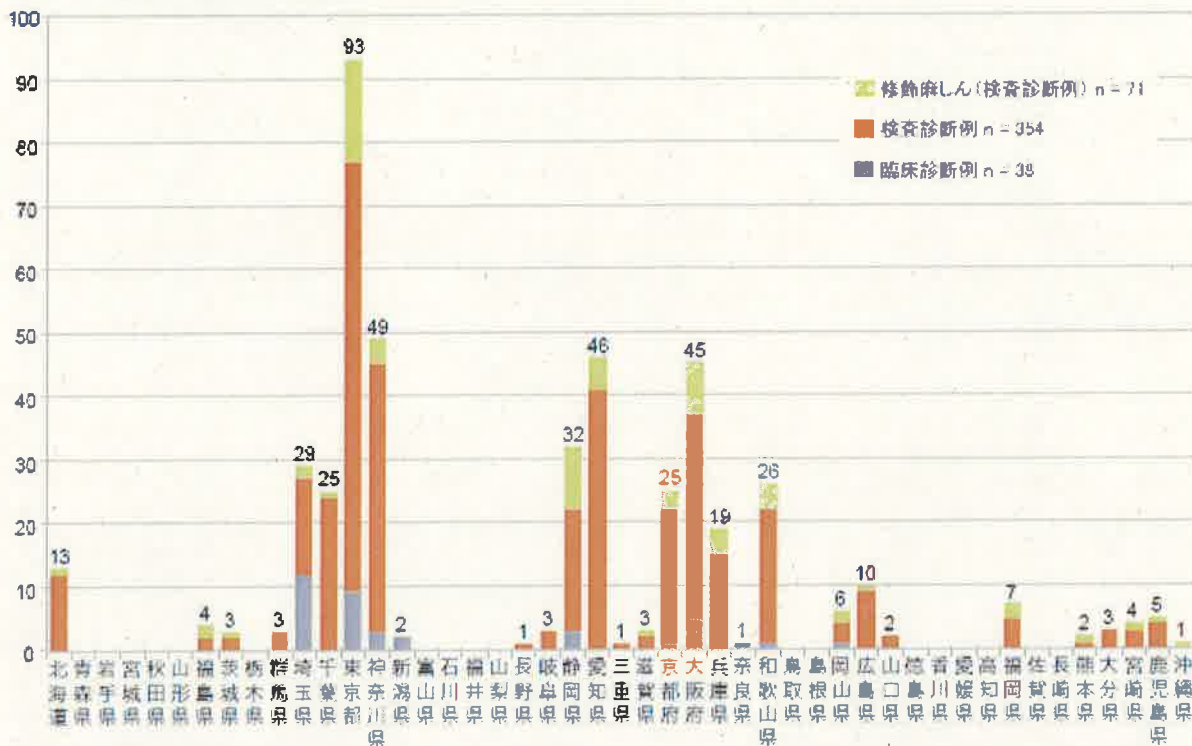


(b) 2013年第1週－52週（n＝232）



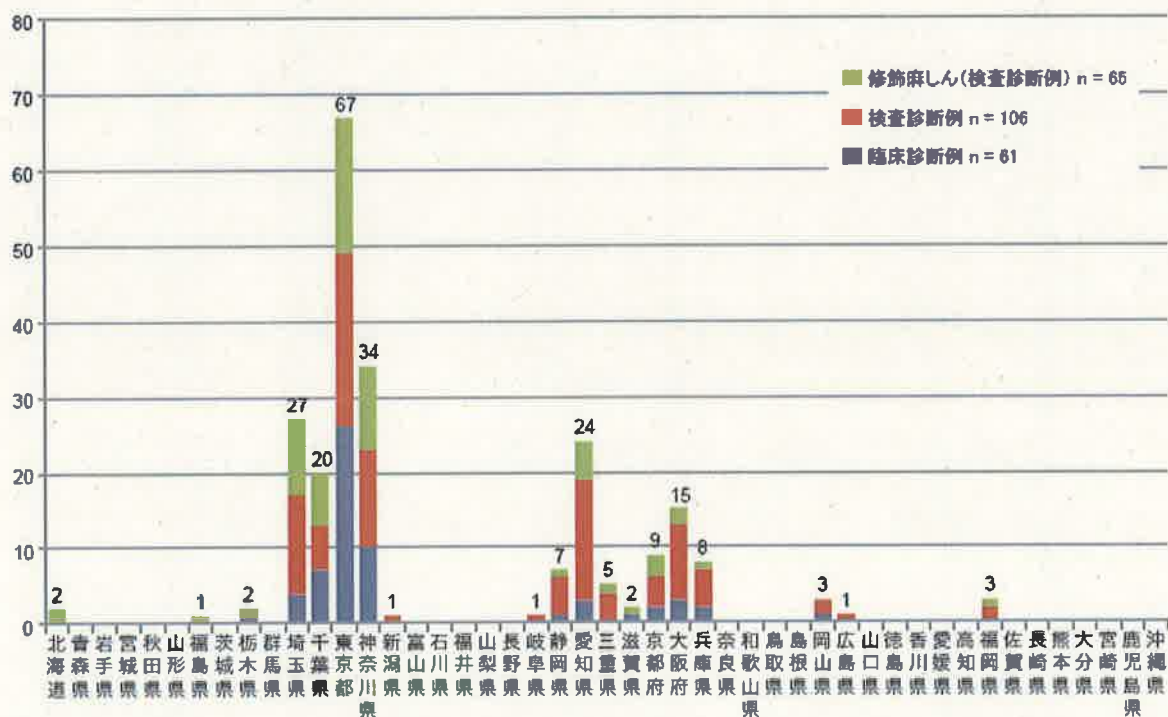
イ 都道府県別病型別麻しん累積報告数

(a) 2014年第1週-52週 (n=463)



感染症発生動向調査 2015年1月6日現在

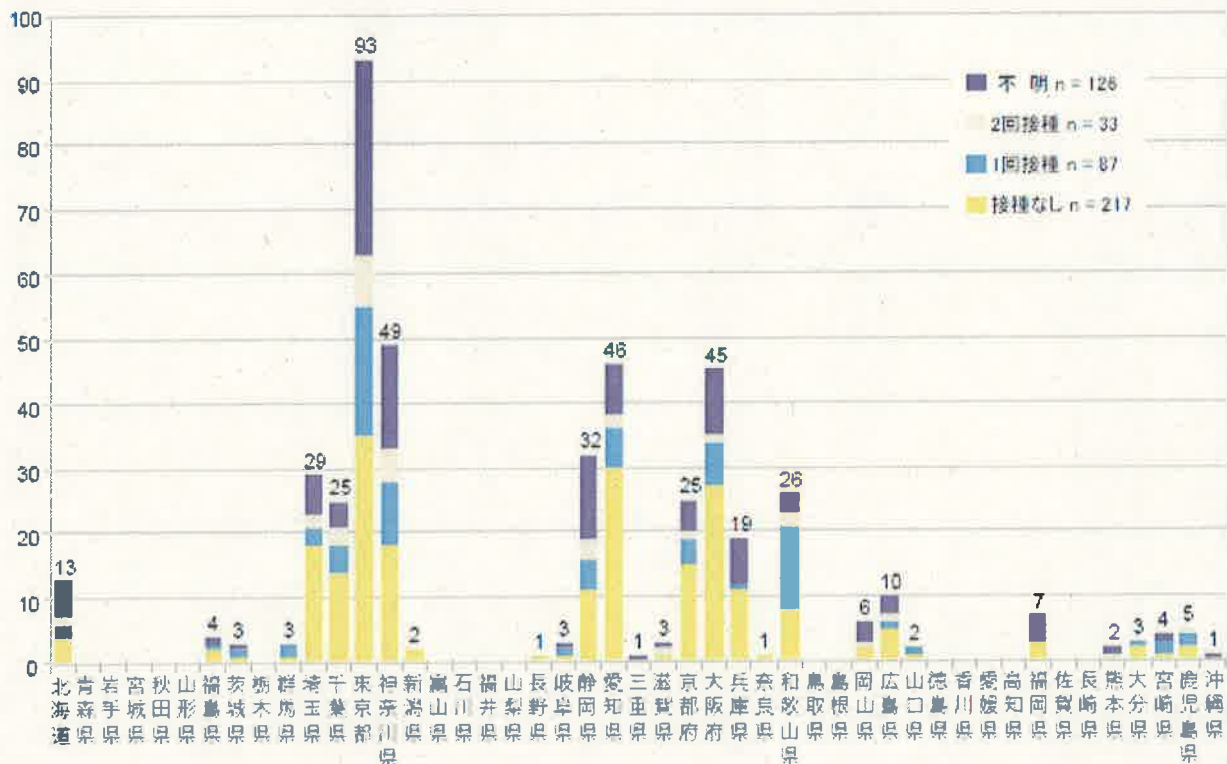
(b) 2013年第1週-52週 (n=232)



感染症発生動向調査 2014年1月7日現在

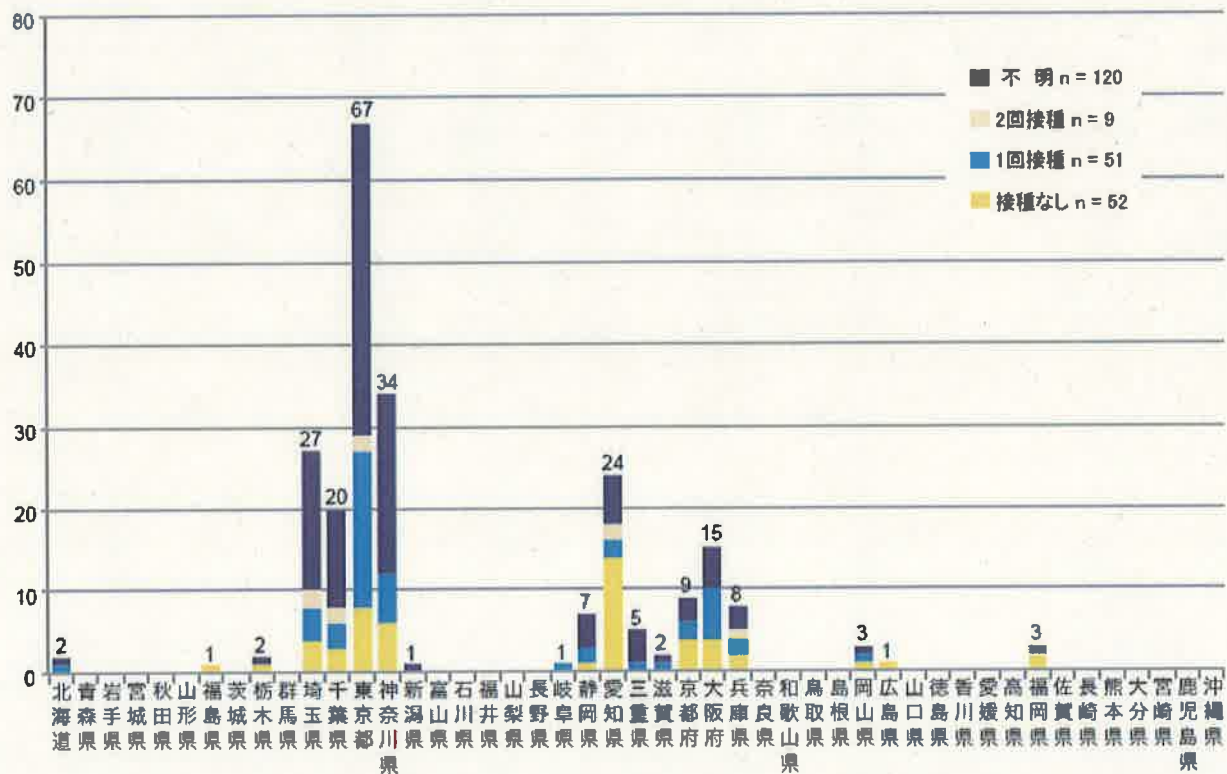
ウ 都道府県別接種歴別麻しん累積報告数

(a) 2014年第1週-52週 (n=463)



感染症発生動向調査 2015年1月6日現在

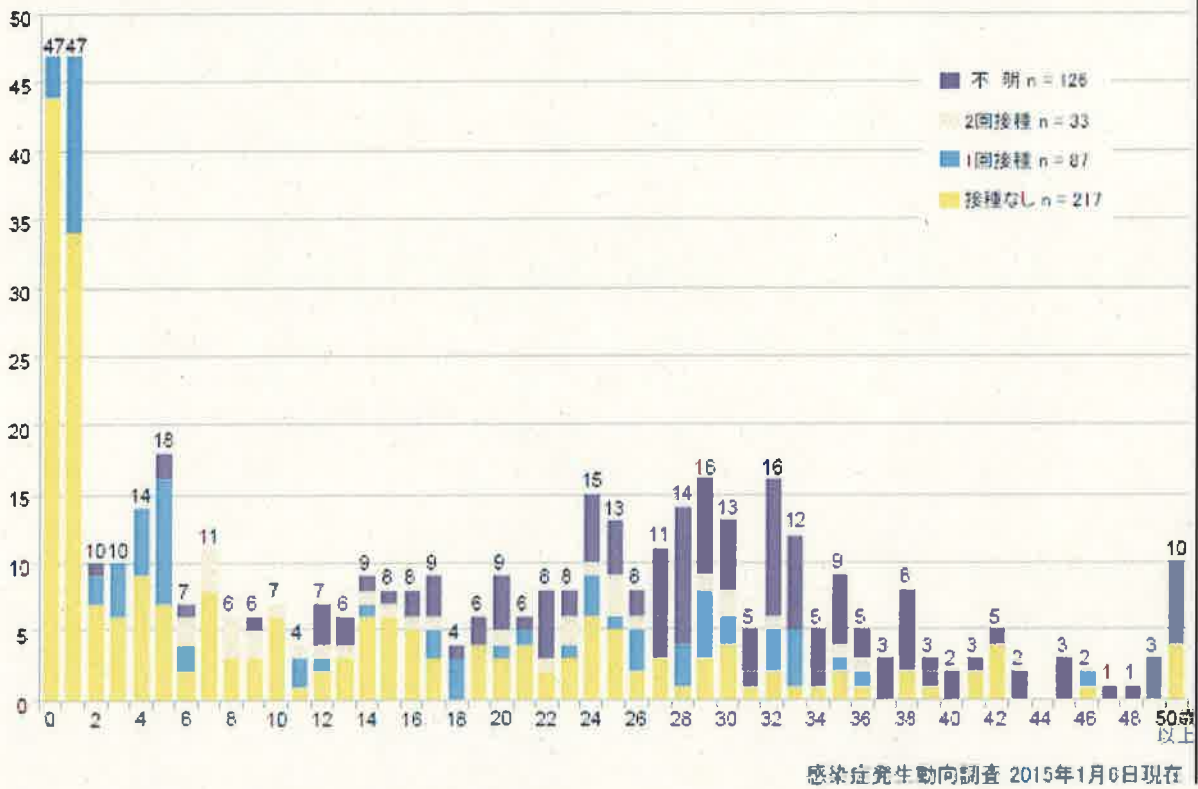
(b) 2013年第1週-52週 (n=232)



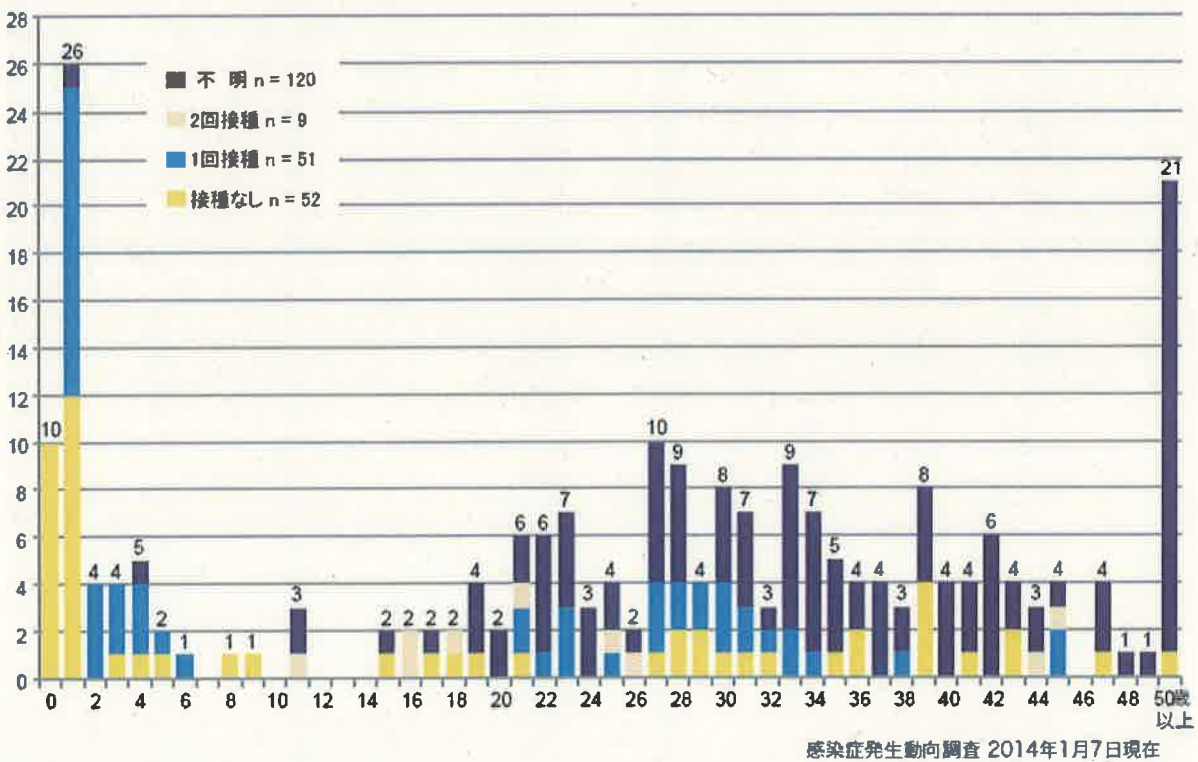
感染症発生動向調査 2014年1月7日現在

工 年齢別接種歴別麻疹累積報告数

(a) 2014年第1週-52週 (n=463)



(b) 2013年第1週-52週 (n=232)



4 麻しん施設別発生状況について

○ 麻しん施設別発生状況とは

麻しんの発生状況、動向及び原因の調査の一環として、厚生労働省健康局結核感染症課が作成した「麻しん施設別発生状況に係る調査実施要領」に基づき実施するもので、各学校から最寄りの保健所に対して連絡（学校保健法第20条）のあった麻しんによる休校等の情報を取りまとめて、厚生労働省が公表している。

平成20年を最後に、休校、学年・学級閉鎖等の発生は報告されていない。

5 病原体情報について

① 北海道における麻しんウイルス検出状況（道立衛生研究所）

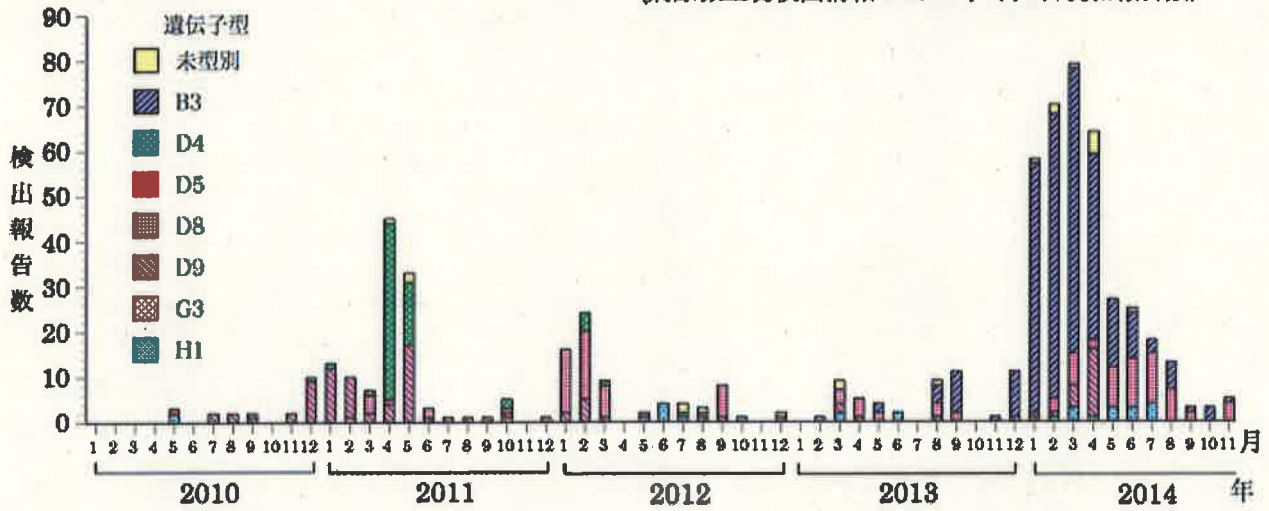
	検出数	遺伝子型
平成19年(2007年)	25 / 37	すべてD5型
平成20年(2008年)	20 / 25	すべてD5型
平成21年(2009年)	0 / 3	—
平成22年(2010年)	0 / 23	—
平成23年(2011年)	2 / 40	すべてD8型
平成24年(2012年)	0 / 28	—
平成25年(2013年)	0 / 60	—
平成26年(2014年)	8 / 26	すべてB3型

② 全国における麻しんウイルス検出状況

	検出数	遺伝子型
平成19年(2007年)	357	D5型：342件、H1型：1件、A型：14件
平成20年(2008年)	199	D5型：185件、D4型：1件、H1型：5件、A型：8件
平成21年(2009年)	8	D5型：3件、D8型：1件、D9型：1件、A型：3件
平成22年(2010年)	27	D5型：1件、D4型：1件*、D8型：1件、D9型：16件、H1型：2件*、A型：1件 (※)：札幌市において各1件
平成23年(2011年)	129	A型：9件、D4型：57件、D8型：9件、D9型：49件、G3型：2件、未型別：3件
平成24年(2012年)	88	A型：15件、D4型：6件、D8型：45件、D9型：11件、H1型：7件、未型別：4件
平成25年(2013年)	66	A型：13件、B3型：26件、D8型：14件、D9型：5件、H1型：5件、未型別：3件
平成26年(2014年)	381	A型：15件、B3型：261件、D8型：57件、D9型：22件、H1型：15件、未型別：11件

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2010年1月～2014年11月

(病原微生物検出情報：2015年1月8日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

【国立感染症研究所感染症情報センターホームページより】

II 風しんの発生状況について

1 風しんとは

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく医師の届出基準において、風しんは「風しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患である」と定義されている。

<届出基準>

患者（確定例）

医師は、風しんの臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から風しんが疑われ、かつ届出に必要な要件を満たすと診断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を7日以内に行わなければならない。

【届出のために必要な要件】

ア 検査診断例

届出に必要な臨床症状の1つ以上を満たし、かつ、届出に必要な病原体診断のいずれかを満たすもの。

イ 臨床診断例

届出に必要な臨床症状の3つすべてを満たすもの。

【届出に必要な臨床症状】

ア 全身性の小紅斑や紅色丘疹

イ 発熱

ウ リンパ節腫脹

【届出に必要な病原体診断】

検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	咽頭拭い液、血液、
検体から直接のPCR法による病原体の遺伝子の検出	髄液、尿
抗体の検出 (IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意の上昇)	血清

また、「国立感染症研究所「風疹Q&A（2012年7改訂版）」では次のように記載されている。

Q 風疹とはどんな病気ですか？

A 風疹ウイルスによって起こる急性の発疹性感染症で、流行は春先から初夏にかけて多く見られます。潜伏期間は2-3週間（平均16-18日）で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。ウイルスに感染しても明らかな症状がでることがないまま免疫が出来てしまう（不顕性感染）人が15-30%程度いるようです。一度かかると、大部分の人は生涯風疹にかかることはありません。従来、集団生活にはいる1-9歳ころ（1-4歳児と小学校の低学年）に多く発生をみていましたが、近年は多くが成人男性となっています。風疹ウイルスは患者さんの飛まつ（唾液のしぶき）などによってほかの人にうつります。発疹のでる2-3日まえから発疹がたあとの5日くらいまで患者さんは感染力があると考えられています。感染力は、麻疹（はしか）や水痘（水ぼうそう）ほどは強くありません。

風疹の症状は子どもでは比較的軽いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が、2,000人から5,000人に一人くらいの割合で発生することがあります。その点では軽視できない病気です。また、大人がかかると、発熱や発疹の期間が子どもに比べて長く、関節痛がひどいことが多いとされています。一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

2 風しんの発生状況及び動向の把握

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、風しんは五類感染症に規定（法第6条第6項）されており、風しんと診断した医師は都道府県知事（保健所）に届出することになっている。（法第12条第1項第2号：規則第4条第3項）

<定点医療機関から全医療機関に変更>

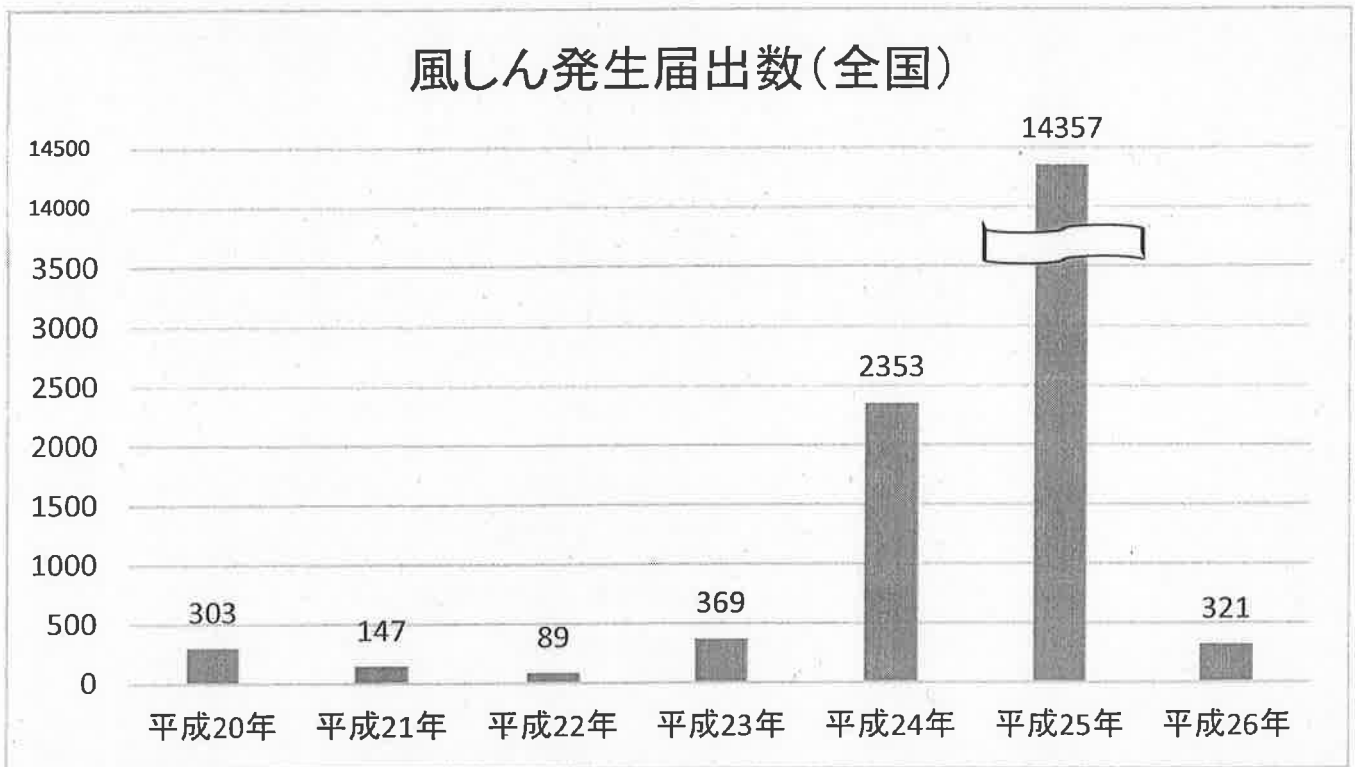
平成19年12月に規則改正が行われ、それまで知事の指定した医療機関（指定届出機関）からのみ届出されていた風しんが、平成20年1月より全医療機関（医師）から届出されることとなった。

（道内の届出：小児科定点143カ所、基幹定点23カ所（H19） → 全医療機関（医師）（H20））

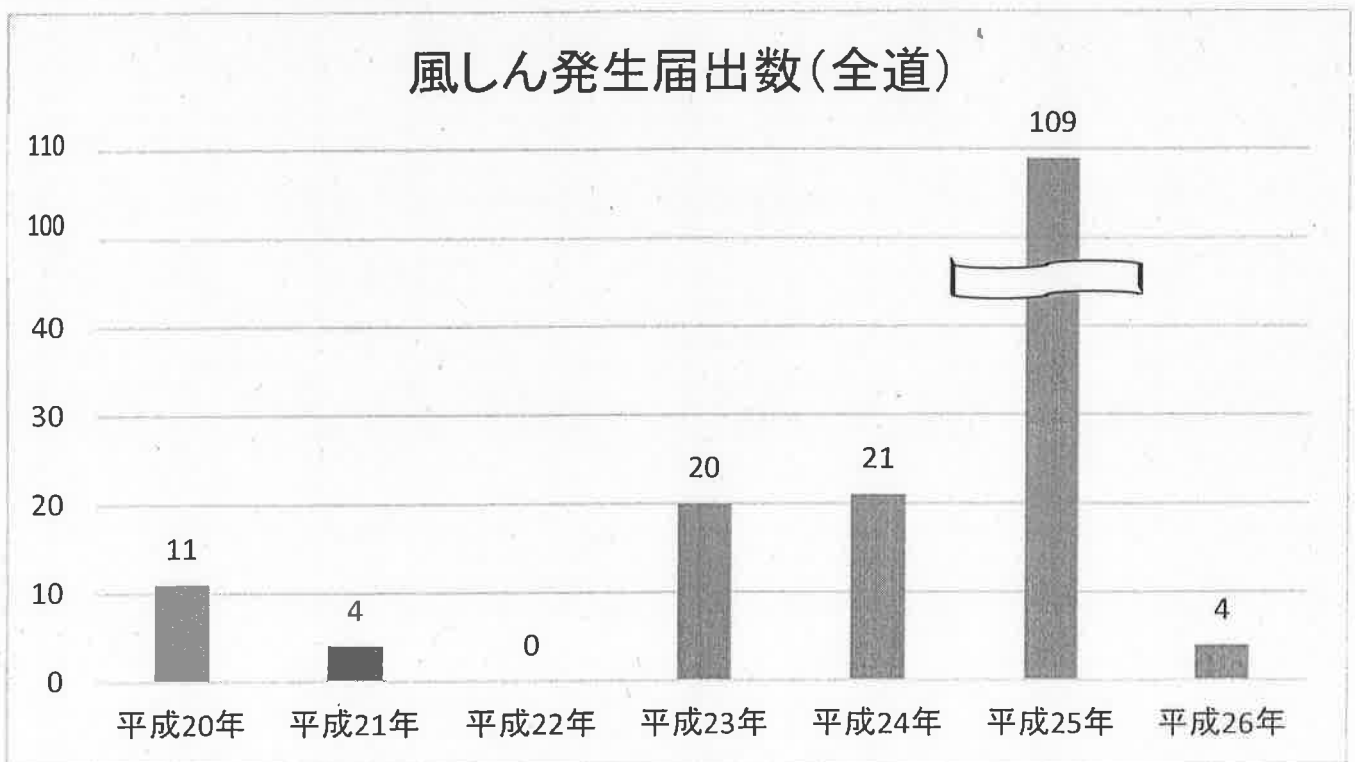
3 風しんの発生状況について

A 風しん発生件数の推移

(1) 全国風しん発生件数の推移 (単位：件)



(2) 全道風しん発生数の推移 (単位：件)



B 年次毎の風しん発生状況

(1) 平成26年(全医療機関(医師)からの届出)

【全国及び全道における風しん発生状況(届出週)】

区分	1週 ~1/5	2週 ~1/12	3週 ~1/19	4週 ~1/26	5週 ~2/2	6週 ~2/9	7週 ~2/16	8週 ~2/23	9週 ~3/2	10週 ~3/9	11週 ~3/16	12週 ~3/23	13週 ~3/30	14週 ~4/6	15週 ~4/13	16週 ~4/20	17週 ~4/27	18週 ~5/4	19週 ~5/11	20週 ~5/18	21週 ~5/25	22週 ~6/1	23週 ~6/8	24週 ~6/15	25週 ~6/22	26週 ~6/29	27週 7/6
全国	5	15	4	13	11	11	8	16	13	9	10	12	9	8	5	9	16	13	10	2	3	6	3	8	5	6	7
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

区分	28週 ~7/13	29週 ~7/20	30週 ~7/27	31週 ~8/3	32週 ~8/10	33週 ~8/17	34週 ~8/24	35週 ~8/31	36週 ~9/7	37週 ~9/14	38週 ~9/21	39週 ~9/28	40週 ~10/5	41週 ~10/12	42週 ~10/19	43週 ~10/26	44週 ~11/2	45週 ~11/9	46週 ~11/16	47週 ~11/23	48週 ~11/30	49週 ~12/7	50週 ~12/14	51週 ~12/21	52週 ~12/28	累計
全国	9	5	3	7	2	1	4	2	8	5	3	1	3	1	7	3	3	2	4	1	1	2	3	2	2	321
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9	0	0.0%
10~14	0	0.0%
15~19	0	0.0%
20~29	1	25.0%
30~	3	75.0%
計	4	100.0%

【参考2】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	稚内
患者数	2	2

【参考3】予防接種歴別発生状況

接種歴別	無	不明
患者数	1	3

(2) 平成25年(全医療機関(医師)からの届出)

区分	1週 ~1/6	2週 ~1/13	3週 ~1/20	4週 ~1/27	5週 ~2/3	6週 ~2/10	7週 ~2/17	8週 ~2/24	9週 ~3/3	10週 ~3/10	11週 ~3/17	12週 ~3/24	13週 ~3/31	14週 ~4/7	15週 ~4/14	16週 ~4/21	17週 ~4/28	18週 ~5/5	19週 ~5/12	20週 ~5/19	21週 ~5/26	22週 ~6/2	23週 ~6/9	24週 ~6/16	25週 ~6/23	26週 ~6/30	27週 7/7
全国	25	99	77	113	115	208	202	311	313	325	402	401	502	592	663	692	726	550	857	828	851	853	663	705	636	460	458
北海道	0	0	0	0	0	2	3	2	1	4	4	3	5	4	7	2	4	6	9	6	4	11	6	5	6	3	2

区分	28週 ~7/4	29週 ~7/11	30週 ~7/18	31週 ~7/25	32週 ~8/1	33週 ~8/8	34週 ~8/15	35週 ~8/22	36週 ~8/29	37週 ~9/5	38週 ~9/12	39週 ~9/19	40週 ~9/26	41週 ~10/3	42週 ~10/10	43週 ~10/17	44週 ~10/24	45週 ~10/31	46週 ~11/7	47週 ~11/14	48週 ~11/21	49週 ~11/28	50週 ~12/5	51週 ~12/12	52週 ~12/19	累計
全国	373	246	190	162	121	85	86	66	51	55	38	25	34	23	24	18	20	17	15	9	12	12	17	18	13	14357
北海道	1	1	2	0	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9	11	10.1%
10~14	1	0.9%
15~19	7	6.4%
20~29	41	37.6%
30~	49	45.0%
計	109	100.0%

【参考2】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	旭川市	市立函館	江別	千歳	渡島	江差	倶知安	岩内	室蘭	静内	上川
患者数	41	5	28	1	1	1	2	1	9	2	5	1

保健所別	稚内	網走	北見	帯広	釧路	計
患者数	1	1	6	3	1	109

【参考3】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有(2回)	有(1回)	有(1回(2回目は不明))	無	不明
患者数	2	6	1	34	66

(3) 平成24年(全医療機関(医師)からの届出)

区分	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
	~1/8	~1/15	~1/22	~1/29	~2/5	~2/12	~2/19	~2/26	~3/4	~3/11	~3/18	~3/25	~4/1	~4/8	~4/15	~4/22	~4/29	~5/6	~5/13	~5/20	~5/27	~6/3	~6/10	~6/17	~6/24	~7/1	7/8	
全国	4	5	8	2	6	5	6	8	11	22	15	9	13	9	9	8	16	10	18	29	21	45	56	67	59	74	107	
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

区分	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	累計	
	~7/15	~7/22	~7/29	~8/5	~8/12	~8/19	~8/26	~9/2	~9/9	~9/16	~9/23	~9/30	~10/7	~10/14	~10/21	~10/28	~11/4	~11/11	~11/18	~11/25	~12/2	~12/9	~12/16	~12/23	~12/30		
全国	109	84	131	110	95	108	98	94	89	73	68	66	55	50	49	30	21	41	39	55	44	57	40	59	46	2353	
北海道	0	1	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	1	4	1	1	21

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
～9	3	14.3%
10～14	2	9.5%
15～19	3	14.3%
20～29	3	14.3%
30～	10	47.6%
計	21	100.0%

【参考2】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	市立函館	深川	渡島	岩内	計
患者数	9	6	1	4	1	21

【参考3】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有(2回)	有(1回)	有(回(2回目は不明))	無	不明
患者数	1	3	2	6	9

(4) 平成23年(全医療機関(医師)からの届出)

区分	1週 ~1/9	2週 ~1/16	3週 ~1/23	4週 ~1/30	5週 ~2/6	6週 ~2/13	7週 ~2/20	8週 ~2/27	9週 ~3/6	10週 ~3/13	11週 ~3/20	12週 ~3/27	13週 ~4/3	14週 ~4/10	15週 ~4/17	16週 ~4/24	17週 ~5/1	18週 ~5/8	19週 ~5/15	20週 ~5/22	21週 ~5/29	22週 ~6/5	23週 ~6/12	24週 ~6/19	25週 ~6/26	26週 ~7/3	27週 7/10
全国	1	1	4	1	1	2	4	7	0	7	8	2	7	10	12	16	8	12	19	33	20	15	16	15	12	10	16
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3	1	3	0	0	0	0

区分	28週 ~7/17	29週 ~7/24	30週 ~7/31	31週 ~8/7	32週 ~8/14	33週 ~8/21	34週 ~8/28	35週 ~9/4	36週 ~9/11	37週 ~9/18	38週 ~9/25	39週 ~10/2	40週 ~10/9	41週 ~10/16	42週 ~10/23	43週 ~10/30	44週 ~11/6	45週 ~11/13	46週 ~11/20	47週 ~11/27	48週 ~12/4	49週 ~12/11	50週 ~12/18	51週 ~12/25	52週 ~1/1	累計
全国	11	4	8	8	4	13	6	7	1	4	1	4	3	2	6	0	5	6	4	6	3	7	5	0	1	369
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	20

【参考1】北海道における年齢別発生状況

年齢区分	報告数	割合
~ 9	1	5.0%
10~14	0	0.0%
15~19	1	5.0%
20~29	3	15.0%
30~	15	75.0%
計	20	100.0%

【参考2】保健所別発生状況

保健所別	札幌市	岩内	釧路	計
患者数	3	16	1	20

【参考3】予防接種歴別発生状況

接種歴別	有(2回)	有(1回(2回目は不明))	無	不明
患者数	1	1	5	13

(5) 平成22年(全医療機関(医師)からの届出)

区分	1週 ~1/4	2週 ~1/11	3週 ~1/18	4週 ~1/25	5週 ~2/1	6週 ~2/8	7週 ~2/15	8週 ~2/22	9週 ~3/1	10週 ~3/8	11週 ~3/15	12週 ~3/22	13週 ~3/29	14週 ~4/5	15週 ~4/12	16週 ~4/19	17週 ~4/26	18週 ~5/3	19週 ~5/10	20週 ~5/17	21週 ~5/24	22週 ~5/31	23週 ~6/7	24週 ~6/14	25週 ~6/21	26週 ~6/28	27週 ~7/5
全国	3	1	1	1	2	3	0	1	2	1	3	0	2	2	4	6	1	2	1	2	1	4	4	2	1	2	3
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

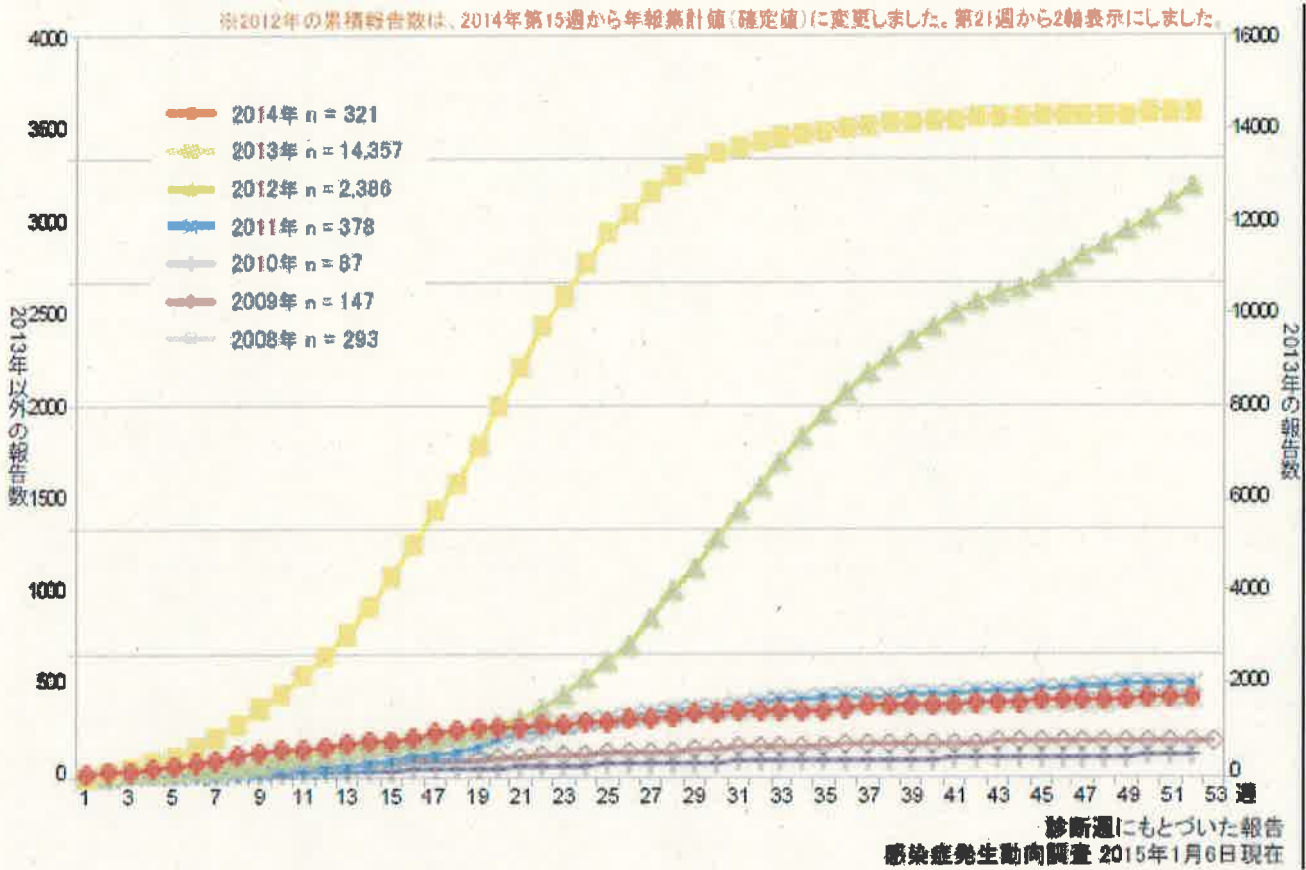
区分	28週 ~7/12	29週 ~7/19	30週 ~7/26	31週 ~8/2	32週 ~8/9	33週 ~8/16	34週 ~8/23	35週 ~8/30	36週 ~9/6	37週 ~9/13	38週 ~9/20	39週 ~9/27	40週 ~10/4	41週 ~10/11	42週 ~10/18	43週 ~10/25	44週 ~11/1	45週 ~11/8	46週 ~11/15	47週 ~11/22	48週 ~11/29	49週 ~12/6	50週 ~12/13	51週 ~12/20	52週 ~12/27	累計
全国	2	1	1	2	2	1	1	1	0	2	1	1	0	2	1	1	1	0	2	0	2	2	4	0	2	89
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

参考：風しん発生状況（速報グラフ）

～感染症発生動向調査～

国立感染症研究所感染症情報センターHPより

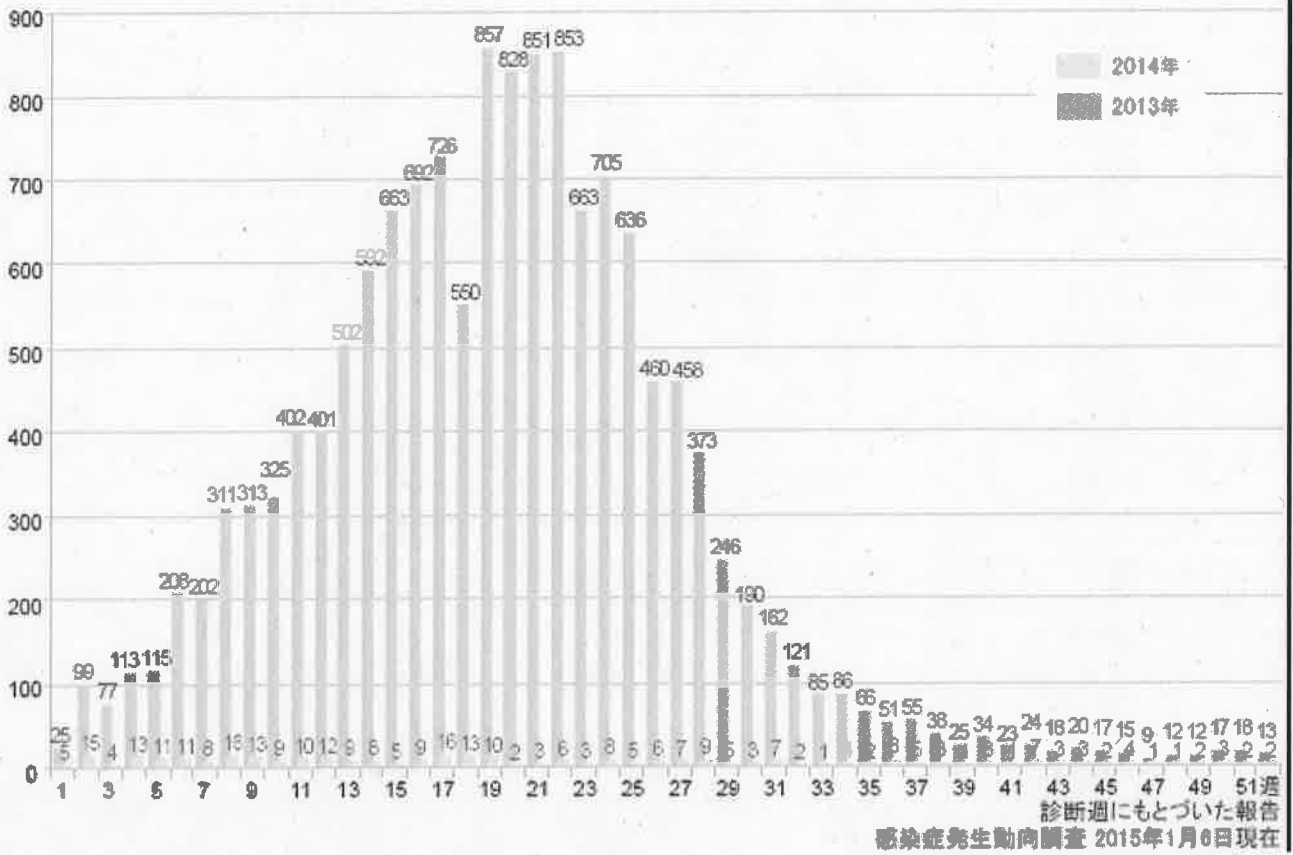
1 風しん累積報告数の推移



2

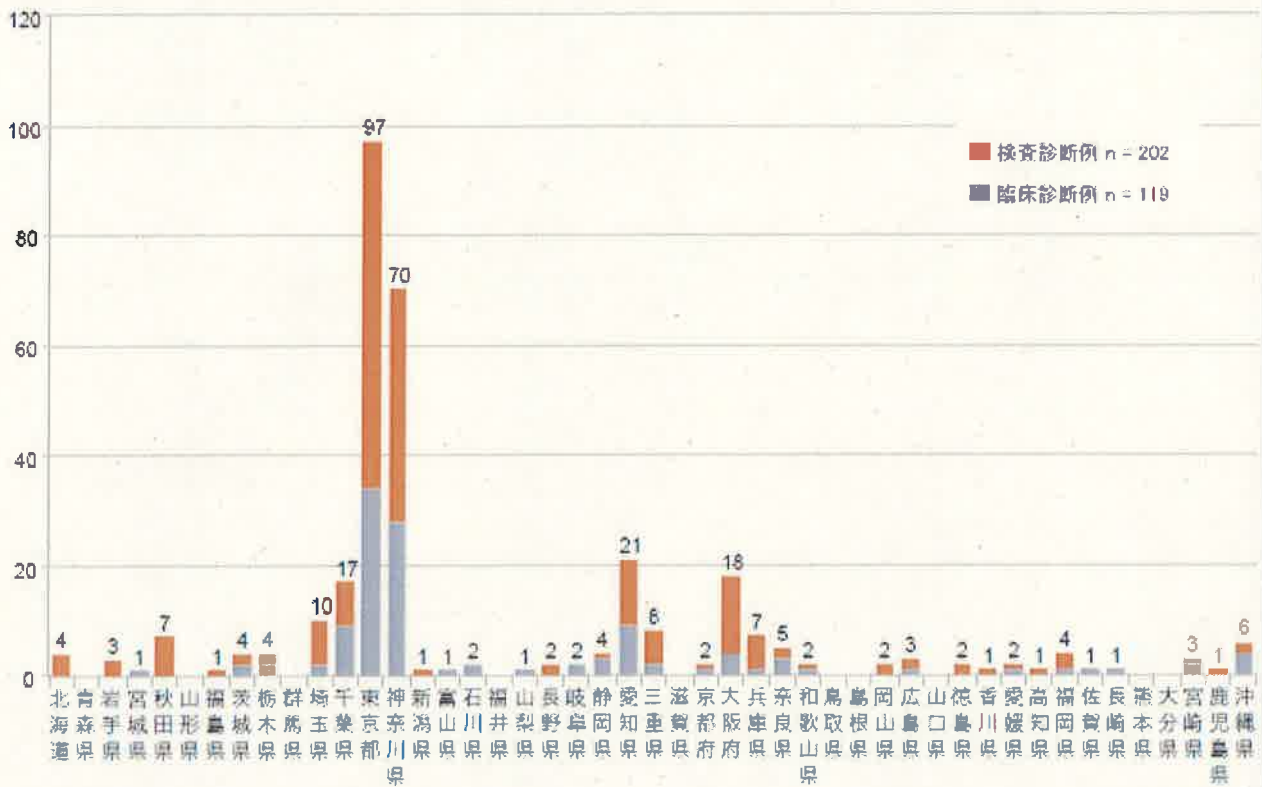
ア 週別風しん報告数（全国）

2013年及び2014年第1週－52週（2013年：n=14,357、2014年：n=321）



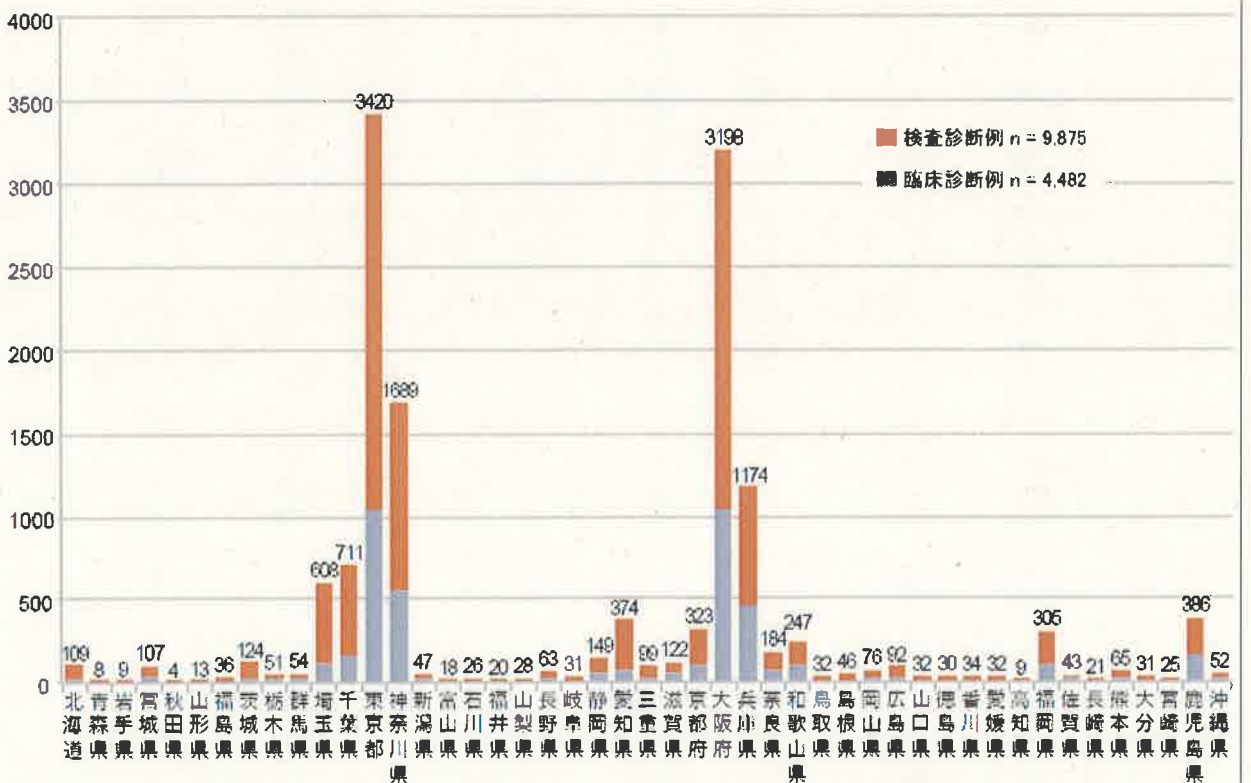
イ 都道府県別病型別風しん累積報告数

(a) 2014年第1週-52週 (n=321)



感染症発生動向調査 2015年1月6日現在

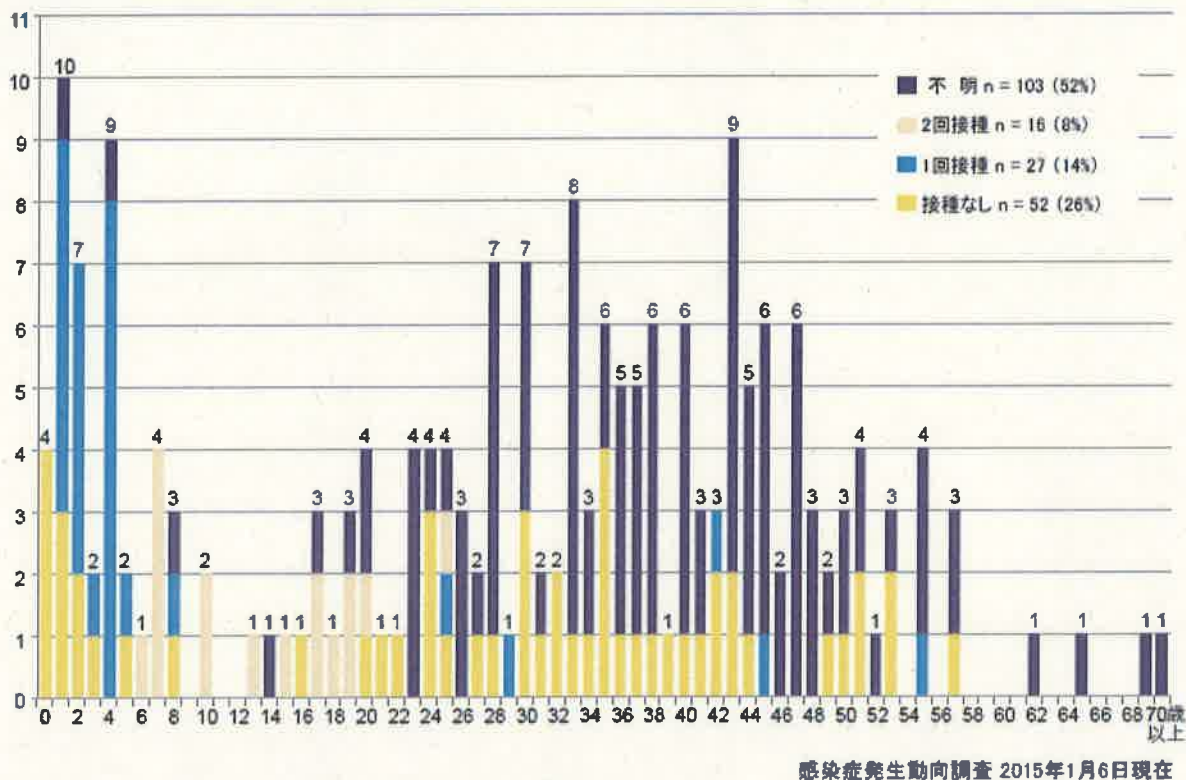
(b) 2013年第1週-52週 (n=14,357)



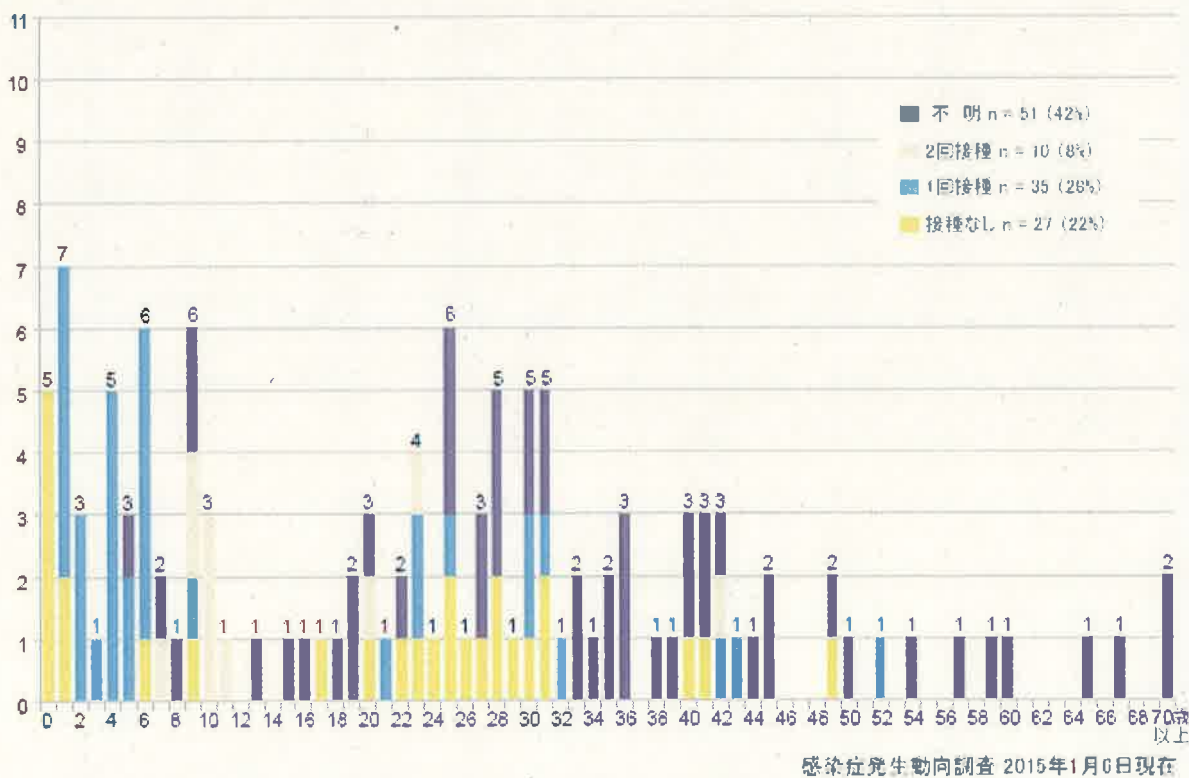
感染症発生動向調査 2014年1月7日現在

ウ 年齢別接種歴別風しん累積報告数

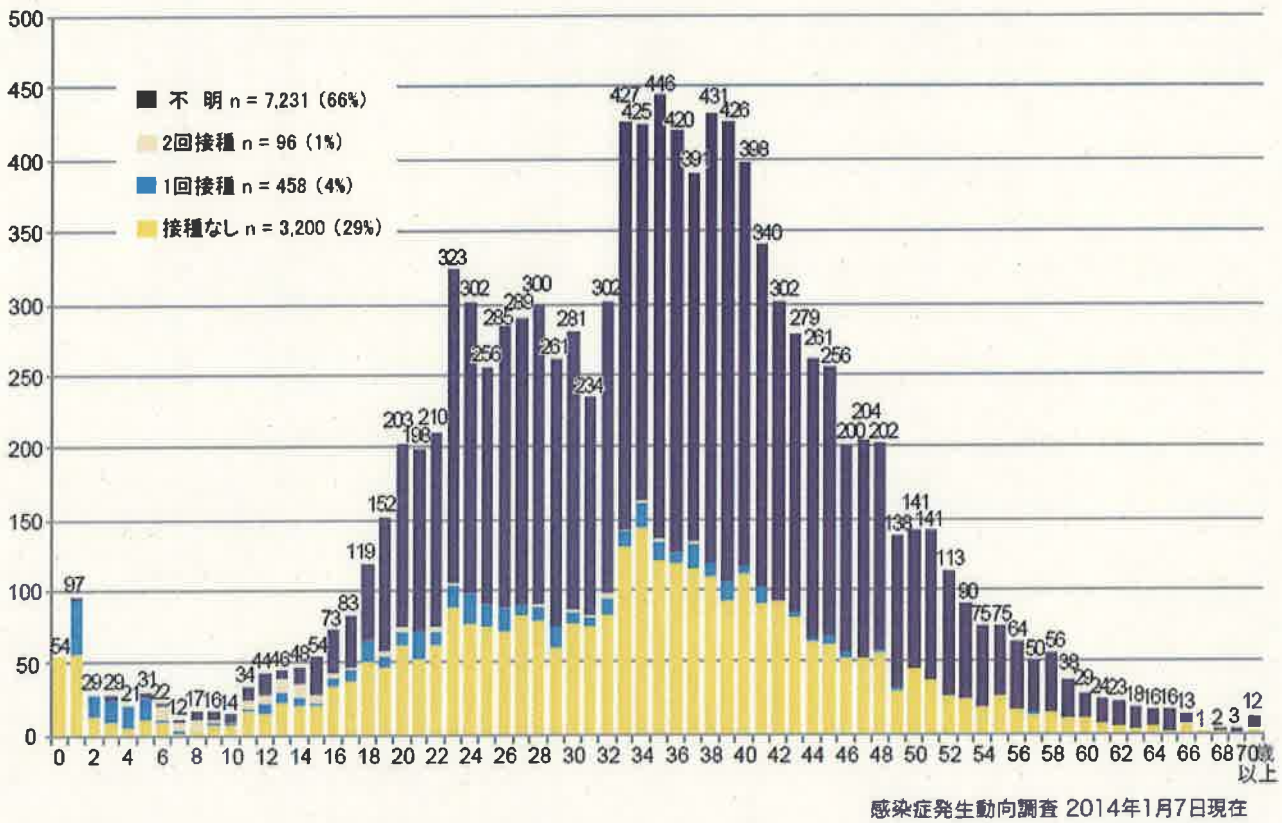
(a-1) 男性 2014年第1週-52週 (n=198)



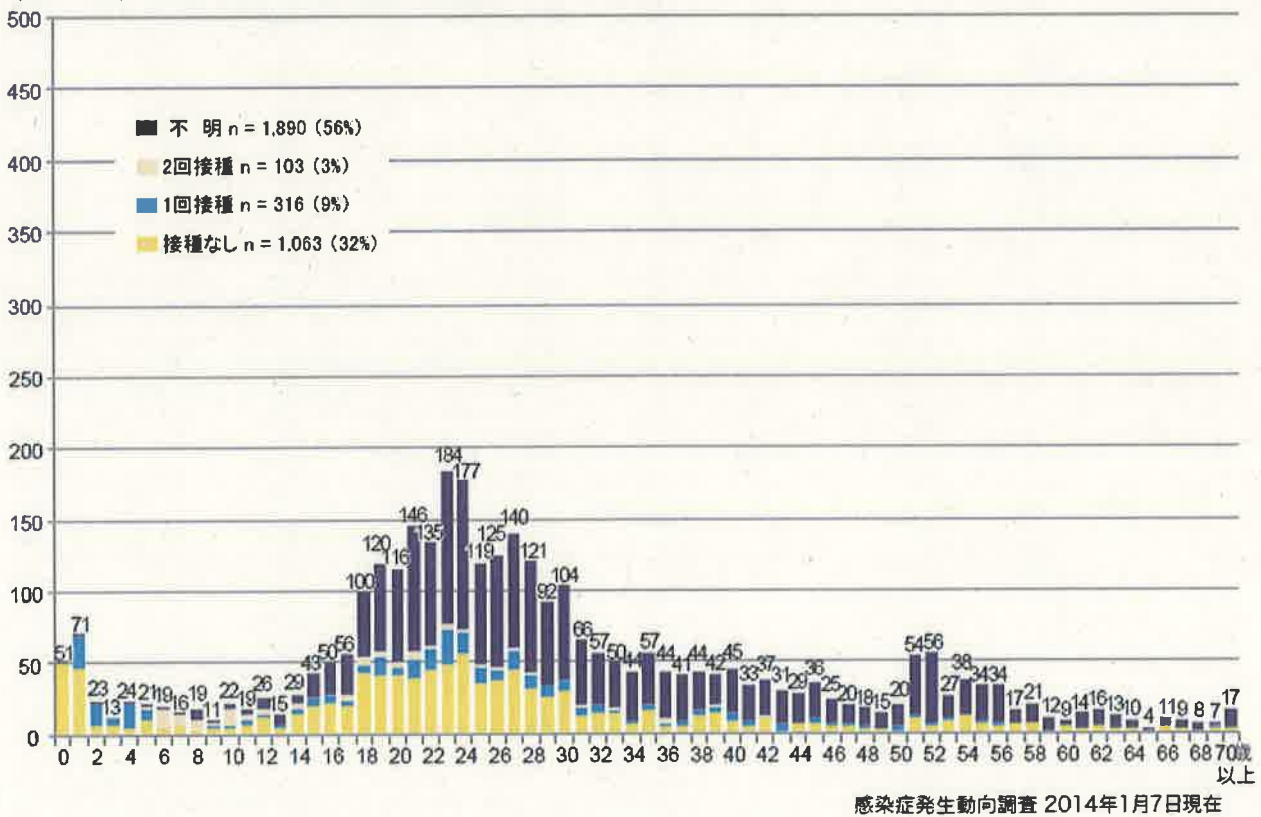
(a-2) 女性 2014年第1週-52週 (n=123)



(b-1) 男性 2013 年第1週 - 52週 (n = 10,985)



(b-2) 女性 2013 年第1週 - 52週 (n = 3,372)



4 病原体情報について

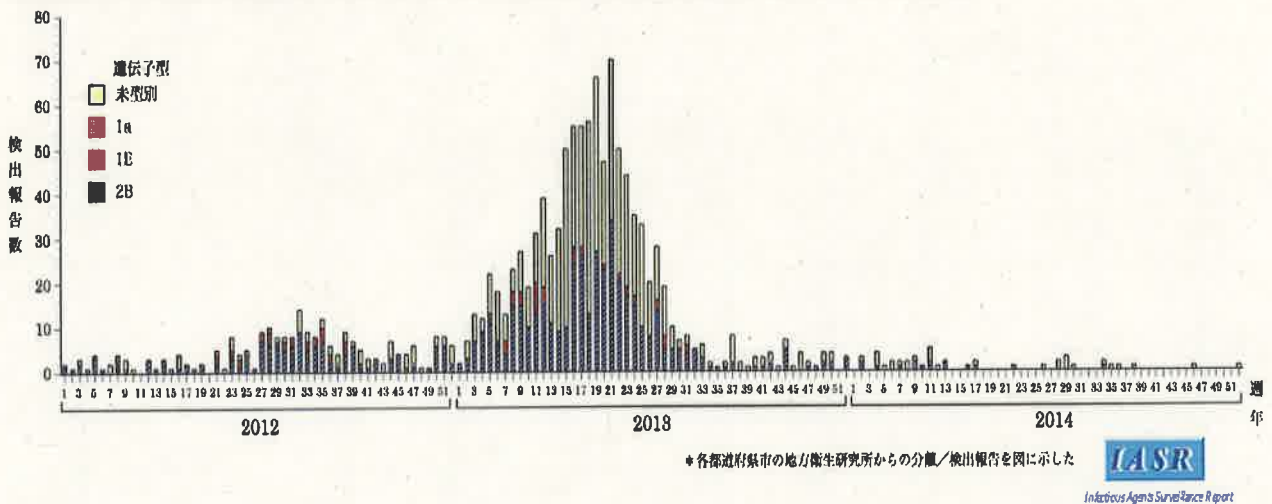
① 北海道における風しんウイルス検出状況（道立衛生研究所）

	検出数	遺伝子型
平成23年(2011年)	8	1 E型：7件、未型別：1件
平成24年(2012年)	4	2 B型：3件、未型別：1件
平成25年(2013年)	34	2 B型：31件、未型別：3件
平成26年(2014年)	2	2 B型：1件、未型別：1件

② 全国における風しんウイルス検出状況

	検出数	遺伝子型
平成23年(2011年)	58	1 E型：16件、1 j型：1件、2 B型：13件、未型別：28件
平成24年(2012年)	233	1 a型：1件、1 E型：35件、2 B型：134件、未型別：63件
平成25年(2013年)	999	1 a型：3件、1 E型：42件、2 B型：419件、未型別：535件
平成26年(2014年)	44	1 a型：5件、2 B型：10件、未型別：29件

週別風疹ウイルス分離・検出報告数、2012年第1週～2014年第52週（病原微生物検出情報：2015年1月8日現在報告数）



【国立感染症研究所感染症情報センターホームページより】